

【西川町】

校務DX計画

「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や、「GIGA スクール構想の下での校務DX 化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえ、以下の取り組みや検討を実施し、校務DXを進めていく。

1. FAX・押印

FAX については、公所との連絡にはほぼ使用しておらず、災害時やネットワークの不具合時など、FAX の方が効率的な場合を除き、FAX の原則廃止を視野にいて取り組んでいく。

押印については、財務伝票の電子決裁化による押印廃止など、押印廃止や公印省略が進んできているが、今後も引き続き見なおしを図っていく。

2. 校務支援システム

令和5年度に小中学校に同じ校務支援システムを導入した。学籍や成績の管理、児童・生徒の一人一人の記録などに活用してきた。令和7年度からは、更に、時数管理、学校日などにも活用を広げ、教職員の働きやすさの向上を目指し、システムの更新時期にあわせてセキュリティ対策を十分に講じたうえでのクラウド化を検討したい。

3. 連絡網システムの活用

学校と保護者間の連絡用に導入した連絡網システム(オクレンジャー)で、学校からのお便り、通知等を送付しており、保護者間でも定着してきた。令和6年度からはそれらに加え出欠遅刻早退等の連絡も同システムを利用する等、システム利用の幅を広げてきている。今後もシステムの活用を推進し、学校・保護者間における負担軽減と、教職員の働き方改革を推進していく。